

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成27年 7月31日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区上鳥羽鉾立町11番地1		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 任 天 堂 株 式 会 社 代表取締役 竹 田 玄 洋
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1	
適 用 範 囲	京都府下の事業所 (任天堂株式会社 本社ほか 4箇所)	
導 入 年 月 日	平成25年 2月 8日	
認 証 番 号	J Q A - E M 6 9 3 9	
基 本 方 針	<b>環境理念：</b> 次世代の笑顔のためにより良い環境を引き継ぎます。 <b>行動指針：</b> 1.より良い環境を目指す ・環境にやさしい製品・サービスの提供と、環境汚染の予防に努めます。 2.きまりを守る ・環境をより良いものにしていくために世界中で設けられている事業活動に関連するさまざまな法令や規制を確実に守ります。 3.繰り返し見直す ・環境にやさしい行動をとるため、直すべき点、足りない点を互いに探しあい、指摘しあう仕組みを整え、全員で改善を続けます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. オフィスの電気使用量削減 H22年度を基準に H26年度の電気使用量を15%削減する。 （H26年度は、本社および本社開発棟は対象外、ただし削減量は把握する。） 2. オフィス用紙の使用量削減 H22年度比でH26年度に40%削減する。（A4用紙換算） 3. 廃棄物のリサイクル率向上 リサイクル率は、年度ごとの目標値、H24年度:80%、H25年度:85%、H26年度:90%を達成する。 4. 製品の環境配慮 製品の環境配慮を推進する。	
目標を達成するための取組の内容	1. 社員教育 節電、省エネおよび資源の有効活用の徹底について教育を実施した。 2. 資源有効活用の見直し より確実にリサイクルできる業者の選定、分別基準を強化し、資源の有効活用をさらに推進中。	
目標を達成するための取組の進捗状況	環境委員会を常置し、エネルギー管理組織と一丸になって積極的に活動を展開中 1. 電気使用量削減：空調の温度管理および不要照明の消灯等の徹底ほかで、計画どおり目標を達成 (H26年度実績：H22年度比19.9%削減) 2. 紙使用量削減：裏面活用ほかで、計画どおり目標を達成 (H26年度実績：H22年度比53.3%削減) 3. リサイクル率：業者の見直し、分別の徹底により、計画どおり目標を達成 (H26年度実績：94.8%)	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・環境マネジメントシステム導入の成果が現われ、社員の環境意識の醸成により、目標を達成できた。 ・今後も成果を維持するために、継続的な意識啓発などの取り組みを行う等、関連部署ごとに実施できる対策を検討していく。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	・遵守できている。 ・関連する法令の規定内容と遵守状況について、所管部署の担当者と責任者、それぞれが相互確認している。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・今後は、P D C Aのサイクルを回しながら改善活動を展開していく。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。